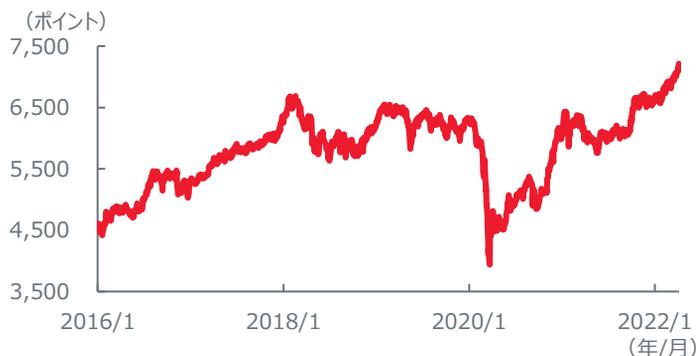


(対象期間：2022/4/4～2022/4/8)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年4月8日)

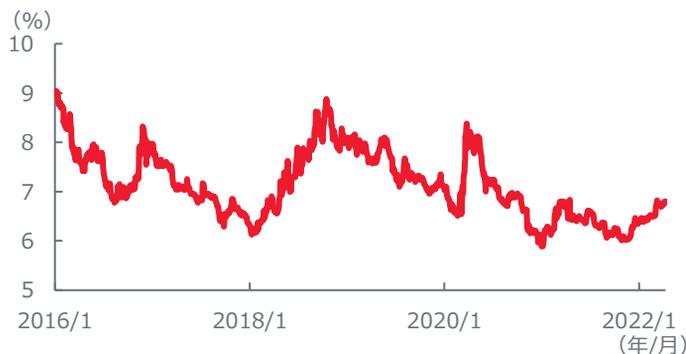


【株式市場】

週初のインドネシア株式市場は小幅な推移となりました。6日は米連邦準備制度理事会（FRB）理事の発言を受けて米国債利回りが上昇したことや、ロシアに対する米欧の追加制裁への懸念などを背景に下落しました。7日から8日にかけては、コモディティ関連株や政府の断食明け大祭の休暇延長の決定を受けた小売、旅行関連株などが堅調となり、8日には終値ベースで史上最高値を更新しました。株式市場は前週末比で上昇しました。

2022/4/1	2022/4/8	変化率
7,078.76	7,210.84	+1.87%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年4月8日)



【債券市場】

週初のインドネシア債券利回りは、5日の国債入札を前にして小動きとなりました。5日の応札額は前回は上回り堅調な需要が見られましたが、入札結果発表後も狭い値幅での推移となりました。6日は米FRB理事のコメントで米国の量的引き締め（QT）が早まるのでは、との観測から米国債利回りが大幅に上昇したことを受けてインドネシア国債の利回りも上昇（価格は下落）しました。その後、週末にかけては動意の薄い展開となり、狭い値幅での推移となりました。10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

2022/4/1	2022/4/8	変化幅
6.744	6.799	+0.055

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年4月8日)



【為替市場】

週の前半は株式市場への資金流入などを背景にルピアは堅調となりました。6日以降はFRB理事のタカ派発言や対ロシア追加制裁を巡る懸念が高まったことを受けて世界的にリスク回避姿勢が強まり、多くの新興国通貨が下落する中でルピアも弱含みとなりました。しかし、株式市場への外国人投資家からの堅調な資金流入を背景に下落幅は限定的でした。7日に発表された3月の外貨準備高は1,391億ドルとなり、政府の対外債務の支払いなどを背景に昨年7月以来の低水準となりました。ルピアは前週末比対米ドル、対円ともに上昇しました。

2022/4/1	2022/4/8	変化率
0.8519	0.8640	+1.42%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。